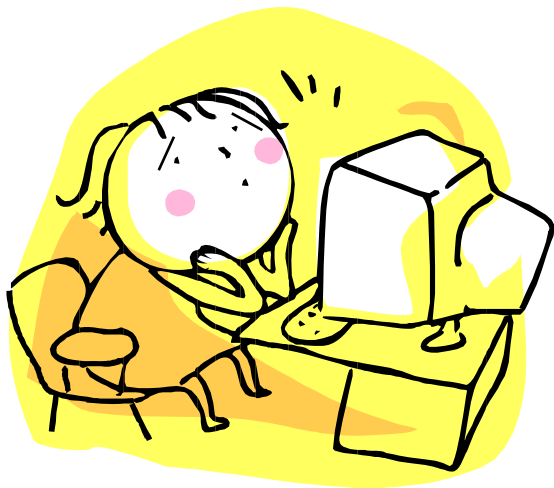


# グループ討議

## 「人材育成の観点から見た 目録所在情報サービスの課題解決」

～図書館員ならメタデータが理解できて当然やろう？～

—人材育成班—



## 現状分析の課題・原因

資料の増加、資料種別の拡大

目録業務の地位低下

スキルの継承問題



# メタデータの運用能力の維持

## 図書館正職員

目録 = 図書館業務の基本となる知識として

目録業務  
(メタデータ理解)

+

リポジトリ  
(権利処理)



サービス業務

受入業務

その他業務



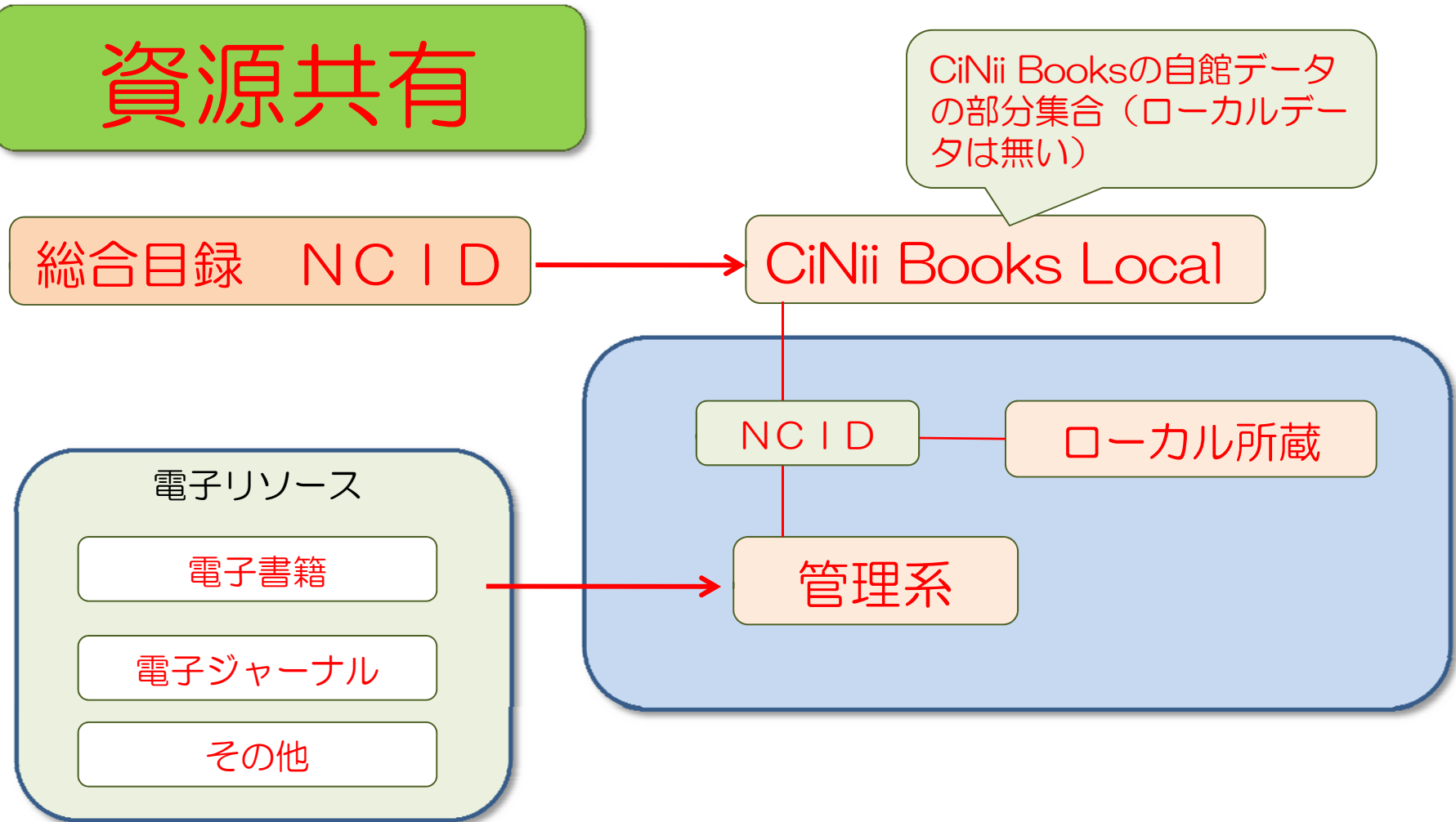
# 10年後のNACISIS-CAT/ILLから考えて

より多様な電子リソースが流通  
メタデータの重要性が増す

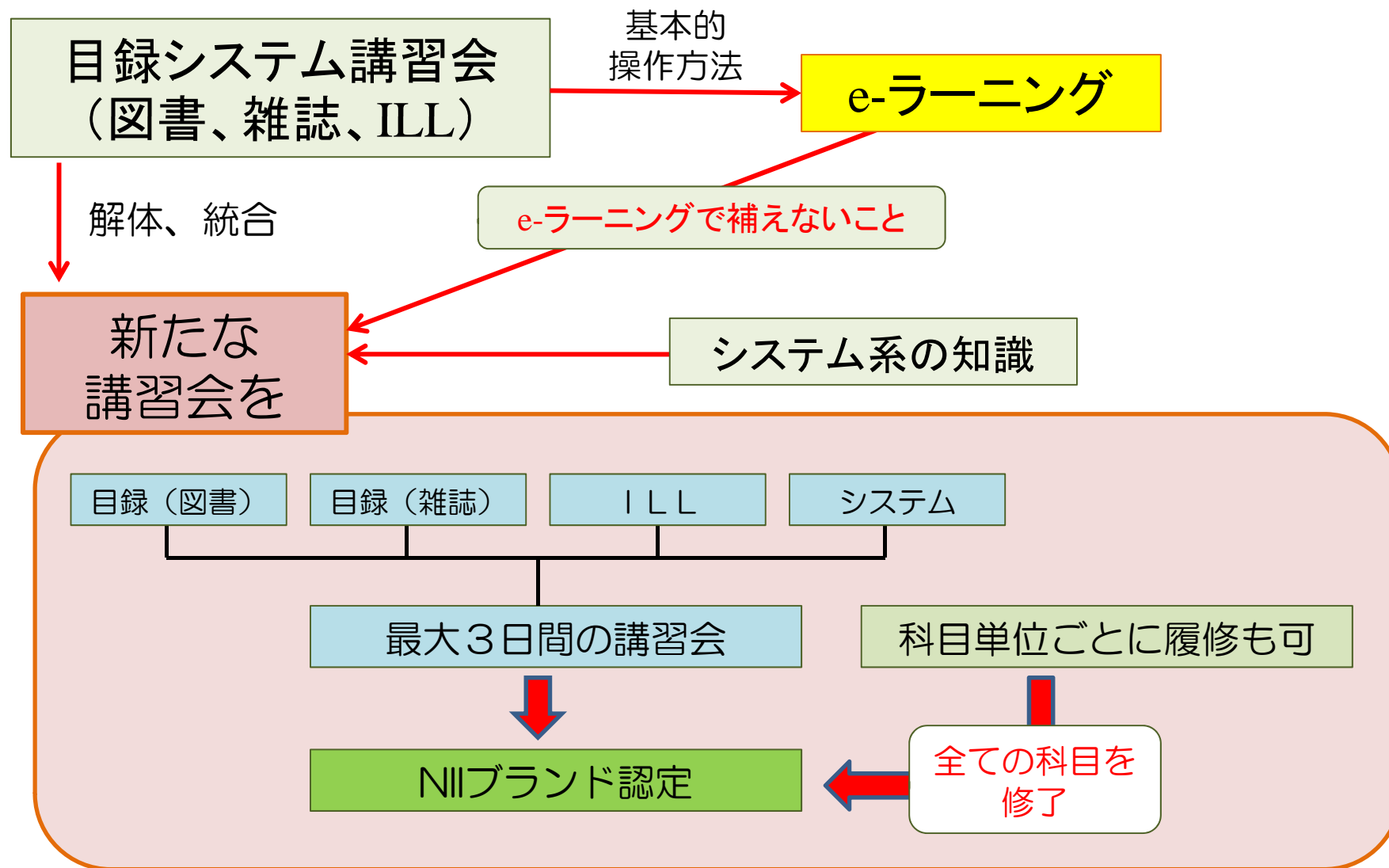


# 10年後のNACISIS-CAT/ILLから考えて

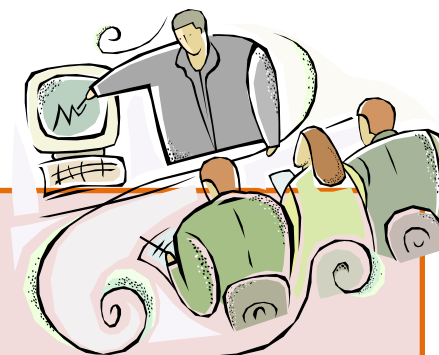
## 資源共有



# 知識を得るためには、どのような講習会が？



## 新たな講習会は科目単位別に



### 1日目 目録（図書・雑誌）コース

- ・ e-ラーニングで学ばないこと（著者名典拠、コピペ etc）
- ・ 記述文法について

NACSIS-CAT、CiNii、MARC21 (JAPAN/MARC等) 互換 junii2 (リポジトリ)

目標「それぞれの記述文法にあったデータを作成し、検索でヒットさせることができる」

### 2日目 ILLコース

- ・ ILLを依頼する前に調べておくこと（リテラシー教育）

目標「自館の資料を知り、Webから適切なデータを見つけることができる」

### 3日目 システムコース

- ・ システム系の知識  
ファイル構造、切り出し、インターフェイス、検索の仕組み、APIの仕組み等

目標「APIによりデータを取得し、設定した該当のフィールドに表示させることができる」

## 現在の講習会との位置づけは？

種 類	現行の研修プログラム
メタデータを理解する力	学術ポータル担当者研修
メタデータを教える力	学術情報リテラシー教育担当者研修 ILLシステム研修会
メタデータを作成する力	目録システム講習会（図書・雑誌）



いくつかの科目を  
メタデータ総合研修に  
集約する



# 講習会後の展開

## サポート体制の構築

- ・地域コミュニティ内で新たに検討していく？
- ・参加者が順次担当？
- ・一か月交代制？
- ・目録？に関することを気軽に尋ねることが可能
- ・実務担当者による報告会（地域コミュニティにて？）

### OJT (On the Job Training)

- ・ツールの提供（参考資料、e-Learning等）
- ・体系化されたOJTのノウハウや成果物の提供、共有  
→ 保管場所の提供

### 実務

- ・図書館業務の協働化の推進
- ・ノウハウや成果物の提供、共有

ノウハウ、成果物  
用語集

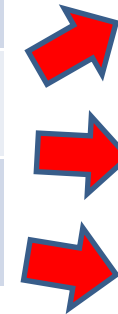
図書館員が目指すものは・・・



## メタデータの理解と図書館業務への流用

### メタデータと図書館業務

種類	内容	該当する業務
教える	ディスカバリーサービスや統合検索の設定などにアドバイス	レファレンス業務 リテラシー教育
作成する	検索でヒットするようにメタデータを作成できる (CAT, CiNii, 機関リポジトリなど)	目録・機関リポジトリ ・雑誌管理業務
理解する	様々なEJやDBのメタデータの項目や記述の違いを知る	システム担当



より専門的な  
仕事へ  
(スペシャリスト)



総合的な視野をもった  
ジェネラリストへ

## 総合的な視野をもった人材へ（ジェネラリスト）

レベル	CHANCEを与える	CHANGEを実行する	CHALLENGEを受け止める	COLLABORATIONできる
3 （大学レベル？）	自分の業界における、職場以外の人材を活用できる。	30年後を見据えて、変革を起こす	他部署・他館からの提案をよりよい形で成功させることができる。	他館の人材と連携し、企画を実行できる 学生、教職員、一般利用者と協働できる
2 （図書館レベル？）	自分の業界における環境変化を知り、人材を活用できる	10年後を見据えて、課題解決と目標設定を図り、計画を策定し実行できる	部下の提案する企画をよりよい形で、失敗・成功させることができる	同組織内の他部局の人材と連携し、企画を実行できる 学生・教員と協働できる
1 （係レベル？）	自分の職場を知り、環境に応じて人材を運用できる	課題を知り、解決のために計画を策定し、実行できる。	部下に必要な研修を受けさせる	同部局内で連携し、企画を実行できる

## より専門的な仕事が可能な人材へ（スペシャリスト）

レベル	システム担当	目録・機関リポジトリ ・雑誌管理業務	リテラシー教育	レファレンス業務
3	ディスカバリーサービスや統合検索の設定など作成、運用できる	ディスカバリーサービスや各種DBの仕組みを理解、運用できる	他館資料の探索について講義できる 教員と連携した教育体制の構築ができる	他館資料を熟知し、自館の利用者のみならず、他館司書からの照会に回答できる
2	各種DB、EJなどの仕組みを知り、検索ができる。	記述文法中級編 junii2（リポジトリ）	各種データベースや参考調査ツールの特性や検索技法、電子資料の探索（OAなど含む）について講義できる	自館利用者を熟知し、利用者の求める形で、資料を提供することができる。
1	システムの記述文法、DBの仕組みを知る、ファイル構造、切り出し、インターフェイス、検索の仕組み、APIの仕組み等	記述文法基礎編 NACSIS-CAT、CiNii、MARC21（JAPAN/MARC等） 互換	自館資料の探索について講義できる	自館資料を熟知し、説明することができる。

実現に向けて  
頑張りましょう！

